

大阪府立弥生文化博物館 平成28年度春季特別展

開館25周年記念

# 鉄器の弥生時代

「鉄器は社会を変えたのか？」

平成28年

4月23日(土) - 6月19日(日)

弥生銅鉄器  
白鹿半白氏製作・村上朝満氏製作  
高槻市歴史文化センター

【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日

【入館料】一般600円、65歳以上・高大生400円

[中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名様は無料・20名様以上の団体は2割引]

5月4日(水祝)は入館無料

主催 / 大阪府立弥生文化博物館・産経新聞社

後援 / 泉大津市・泉大津市教育委員会・和泉市・和泉市教育委員会

史跡呼と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture



# 鉄の弥生時代 - 鉄器は社会を変えたのか? -



鉄斧の断面から現れたメタルの輝き  
比恵遺跡  
福岡市埋蔵文化財センター



鉄器を豊富に保有する山陰  
青谷上寺地遺跡  
鳥取県埋蔵文化財センター



日本オリジナル? 鉄戈  
岸田遺跡  
福岡市埋蔵文化財センター



弥生最長の鉄刀を含む鉄製武器の副葬  
宮内第一遺跡  
潮梨浜町教育委員会

鉄の道具は稲作や青銅器とともに、弥生時代の象徴、といえるものです。鉄器はその切れ味、頑丈さで作業の効率を劇的に高め、弥生人の生活に革命をもたらしました。貴重な素材の入手や高度な技術が必要な加工は、権力者の成長、クニの発達、戦いの激化との関連で考えられ、弥生社会を変えた素材として、鉄は大きな意味を与えられています。

一方、土中で錆びて消滅する、また新たにリサイクルすることができるという鉄の性質から、出土鉄器の評価には難しさが存在します。たとえば、近畿地方は鉄器の出土が少ないにもかかわらず、「見えざる鉄器」として多数の鉄器の保有、そしてそれを可能にした「国力」が推測されてきました。

さまざまな弥生時代の鉄の問題をどう理解していくか。鉄だけでなく、石、木といった深くかかわる素材も合わせて、最初の鉄器、石器から鉄器への変化、鉄器の生産技術、権力者の鉄などの側面から考えます。

## 考古学セミナー(講演会)

**第1回** 4月30日(土) 村上 恭通 氏(愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター)  
「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」

**第2回** 5月14日(土) 榎垣 佳男 氏(文化庁文化財部記念物課)  
「列島における弥生時代の鉄  
-さまざまな議論のある畿内地域の鉄器化を中心に-」

**第3回** 5月28日(土) 伊藤 宏幸 氏(淡路市教育委員会)  
「五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産  
-発掘調査と鍛冶実験で見えてきたこと-」

**第4回** 6月11日(土) 大澤 正己 氏(日鉄住金テクノロジー株式会社)  
「弥生の鉄、マクロ・ミクロの世界から材質・履歴を考える」

- 時間: いずれも午後2時~4時
- 定員: 各回とも170名(当日先着順) 開館時より整理券配付(午後1時30分から受付)
- 参加費: 無料(要入館料)

## 学芸員による展示解説

4月30日(土)、5月14日(土)、28日(土)、6月11日(土)  
□時間: 午前11時から(約1時間)

## 同時開催

### 池上曾根遺跡史跡指定40周年記念展示

#### 青銅器生産の謎

大規模拠点集落・池上曾根遺跡での先端技術・青銅器生産の可能性を探ります。

**会期** 平成28年4月23日(土)から6月19日(日)

**関連ワークショップ** ミニ銅鐸をつくろう

平成28年5月22日(日) (所要時間約40分)

- ・午前の部 / 午前10時~午後0時 募集人数45人  
開館時より整理券配付、定員になり次第受付終了
- ・午後の部 / 午後1時~午後3時 募集人数45人  
午後0時30分より整理券配付、定員になり次第受付終了  
体験料は1500円で、別途入館料が必要です。小学生低学年以下は保護者同伴。

●大阪府立弥生文化博物館●

#### 池上曾根ムラの米作り

コメの収穫に用いられた石庖丁から、水田稲作について考えます。

**会期** 平成28年4月19日(火)から5月29日(日)

**入館料** 無料

**お問い合わせ** 池上曾根弥生学習館0725-20-1841

●池上曾根弥生学習館●

## ACCESS



JR阪和線「信太山」駅下車西へ約600m  
南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】  
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗換えください。  
大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州路快速」をご利用になると便利です。  
鳳から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角  
P普通車72台(無料)



豊彦呼と出会う博物館  
大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27  
TEL.0725-46-2162  
http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/

